

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style [ビズスタ]

2022 03

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、関西、
仙台、福岡、広島にて49万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デイリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
© 2022 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



伝説を語り続ける、カルティエウオッチ。

Pasha de Cartier
 新たな道を進む自由なクリエイティビティ



Maud Remy-Lonvis © Cartier

同じくルイの画期的な創造力を、今もなお鮮やかに映し出す時計がこの「タンク」である。「タンク」が登場したのは、第二次大戦の最中である。新聞インフォレストリオンにて第2戦隊の記事を目にしたルイは、戦車のフォルムから「タンク」を着想。当時流行していた「タンク」のデザインと融合させ、当時の主流であった機中時計のラウンド型から「二本の縦線の直線を基調とする角型のシェイプを生み出した。時代の息吹を腕時計というクリエイションに落とし込んだこの「タンク」は、まさに先見の明を持つルイ・カルティエの手腕があっという間に生み出されたものといえるのだ。

その「タンク」は1922年、新たなモデルが加わった。ここに紹介するのは、1922年にデザインを刷新した「タンク ルイ カルティエ」(Cal.1917 MC)の「レムネ」(Cal.1917 MC)の「レムネ」(Cal.1917 MC)を融合させた新たな「レムネ」の「タンク」(Cal.1917 MC)を再解釈し、1999年に登場した「タンク アメリカン」だ。

極めて正方形に近かったオリジナルの「タンク」からケースの縦枠を伸ばし、角を丸くした「タンク LC」は、レイルウエイチック、サファイアカボション、ローマインデックスなど、カルティエに受け継がれるアイコニックなデザインを構築した時計としても知られている。ルイ自身も愛用した「タンク LC」に今年新たに添えられたのは、レッドとブルーの色彩。アールデコのナメル装飾を彷彿させるクラシカルな趣とコンテンポラリーな色遣いが見事な融合を果たした。そしてアンブレステイラーで日常にも使いやすい「タンク

多様なラインナップ

自由なエスプリを宿した

そして昨年の刷新以降、話題を提供し続ける時計が「パシャ」だ。1985年に誕生した「パシャ」は、カルティエの自由なエスプリを描く「レクシオン」。オーストリアの高官の称号である「パシャ」の名を持つ時計は、1943年にマラケシュのパシャ大公であったルイ・ジャウイ公からの依頼から誕生した。水辺で使える時計を望む大公のオーダーから、カルティエは「パシャ」の原型となるラウンドウォッチを考案。それを原型に、1985年に新たなウォッチコレクションとして確立される。特徴的なねじ込み式のリュウズとリュウズカバー、アラビア数字を用いたクロノグラフのほか、ムーブメントを眺めることのできるスケルトンモデルなど、パシャはさらさら充実。かつて昨年、シチズン・レスウォッチとして話題を呼んだ直径35ミリのサイズに加えて、今年はいエリガントな直径30ミリも登場した。自分で簡単にストロップが交換できるインナー・チエジヤブル仕様も施されるなど、パシャ・ユニティにふさわしいスポーツウォッチとしての堅実なアプローチでも見逃せない。



パシャドウ カルティエ CRWHPA0017
 41mm 自動巻き (Cal.1904-CH MC)
 イエローゴールド
 アリゲーターストラップ2本
 2,877,600円(税込)
 © Cartier



パシャドウ カルティエ CRWHPA0017
 30mm クォーツ
 ピンクゴールド、ダイヤモンド
 アリゲーターストラップ2本
 2,244,000円(税込)
 © Cartier



パシャドウ カルティエ CRWHPA0007
 41mm
 自動巻き (Cal.9624 MC)
 ステンレススティール
 ステンレススティールプレスレット
 アリゲーターストラップ1本
 3,273,600円(税込)
 © Cartier

Tank
 誕生から100年たった今も進化を続ける腕時計



Laziz Hamani © Cartier

歴史的な伝統と現代の革新が生む洗練のスタイル

時計と宝飾において活躍してきた稀有なるメン

カルティエのクリエイションを語るうえで、常に欠かせないものがある。それは、「スタイル」という言葉だ。芸術において時代ごとの作風や様式を指し示すこの言葉を、メンソンは歴代の作品にこそ入、培ってきた独自の美意識を自らの財産としてきた。時代を見据える革新的な発想を伝統の中へと織り交ぜることで、カルティエは既に完成されたスタイルを、未来に向けた新たなクリエイションとして表現し続けてきたのである。

カルティエの根幹を築き上げた人物とされるのが、メンソンの3代目当主となるルイ・カルティエだ。創業者の孫であるルイとヒエール、ジャックの3兄弟が活躍した20世紀初頭にメンソンは飛躍的な発展を遂げるようになる。それは文化が美り、繁栄したヘルエボックの時代から第一次世界大戦へと



Maud Remy-Lonvis © Cartier

移り変わる時代のこと。カルティエはロシアやイギリス、インドなど世界中の王侯貴族たちを顧客に迎え、稀少なハイジュエリーのルイを生み出した。1904年に友人である飛行家アルベルト・サントス・デュモンに依頼で、ケースとストラップを一体化した腕時計を考案。20世紀のバリの空を駆け巡ったラジール人飛行家の時計は、今でもメンソンの代表的な「レクシオン」(Cal.1917 MC)として受け継がれている。21世紀の現代、時計と宝飾の両輪において活躍し続けるメンソンの姿はこの草創期の時代に既に確立されていた。



Maud Remy-Lonvis © Cartier



タンク ルイ カルティエ CRWGTA0059
 LM (33.7x25.5mm)
 手巻き (Cal.1917 MC)
 イエローゴールド
 アリゲーターストラップ
 1,636,800円(税込)
 © Cartier



タンク ルイ カルティエ CRWGTA0058
 LM (33.7x25.5mm)
 手巻き (Cal.1917 MC)
 ピンクゴールド
 アリゲーターストラップ
 1,636,800円(税込)
 © Cartier



タンク マスト CRW4TA0016
 SM (29.5x22mm)
 長寿命クォーツ(約8年)
 ステンレススティール、ダイヤモンド
 カーフレザーストラップ
 748,000円(税込)
 © Cartier



タンク アメリカン CRWGTAA0040
 MM (41.6x22.6mm)
 自動巻き
 イエローゴールド
 アリゲーターストラップ
 1,702,800円(税込)
 © Cartier

Panthere
多彩な魅力を見せる永遠の“パンテール”



Nils Hermann © Cartier

カルティエのジュエリー&ウォッチにおいて、圧倒的な存在感で世界中の女性たちを魅了してきたモチーフが、「パンテール」である。エキゾチックな趣を見せるしなやかな豹の姿は、実に様々なデザインの中に描かれてきた。

最初に「パンテール」が登場したのは1914年のこと。当時カルティエのデザイナーであったシャルルジャコブが手掛けた、ブラックオニキスとダイヤモンドを施したプレスレットウォッチである。白と黒のパンテールパターンを用いたグラフィカルな美しさは、その後のメソンのクリエイションに多大な影響を与えることとなる。殊に「パンテール」の創造力を開花させた女性が、1933年からジュエリーのアーティスティックディレクターを務めたジャンヌトウサンだ。自らも「パンテール」と呼ばれ、このモチーフをこよなく愛した人である。トウサンが最初に手掛けた「パンテール」のジュエリーが、1949年にウィンザー侯爵夫人のために製作したブローチ。サファイアカボションの上に優雅に佇むパンテールの姿は今見ても必見の美しさであり、その後「パンテール」はトウサンの手により、実にいきいきとした表情を見せるようになる。

様々なジュエリーを飾ってきた「フィギュラティブ」な「パンテール」の美は、もちろん、時計においても健在だ。写真の時計はパンテールがケースを啜える、実に愛らしいデザイン。エメラルドのようなグリーンの色彩を目に施し、ブラックラッカーでスポーツパターンをあしらった。このモデルの見どころ



© Cartier

ラ パンテール
CRWHPI01379
クォーツ
SM(23.6mm)
ピンクゴールド、ダイヤモンド
アリゲーターストラップ
3,511,200円(税込)



© Cartier

ラ パンテール
CRWHPI01297
クォーツ
SM(23.6mm)
イエローゴールド、ダイヤモンド
アリゲーターストラップ
3,511,200円(税込)



© Cartier

パンテール ドゥ カルティエ
CRWJPN0032
クォーツ
ミニ(25×21mm)
イエローゴールド、ダイヤモンド
アリゲーターストラップ
3,379,200円(税込)
日本限定

は、見事な立体感。正面から、そして横から。見る角度によつて表情が変わる造詣の深さそのものをも楽しみたい。

そして同じく「パンテール」の名と共に愛されてきたのが、艶めきのゴールドモデルだ。前者とは異なり、パンテールのイメージを抽象化した時計は、ゴールドプレスレットを主役とする。肌に吸い付くように滑らかなプレスレットは、まさに豹の肢体を思わせるしなやかさ。ゴールドの重厚感を活かしつつも、着けたときに重さを感じさせず、かつ腕に馴染むような配置も入念に計算されている。プレスレットの裏側にまでポリッシュがかけられ、どこからみても豹の毛並みのような艶やかさを生み出した。こうした細部への作り込みは、まさにハイジュエリーのテクニクによるもの。これら二つのスタイルと共に、時を紡ぐジュエリーとも呼ぶたい、「パンテール」の魅力に触れてみてはいかがだろうか。

掲載した商品の価格は令和4年3月11日時点のものです。価格や仕様は予告なしに変わることがございます。

Biz Life Style Pick up

小倉魚町の「小林時計店」本店が
カルティエウォッチブティックをリニューアルオープン



小倉魚町の高級時計店「小林時計店」は、今年で90周年を迎える。これに合わせて、今月、北九州市内で唯一となるカルティエウォッチブティックのリニューアルを完了した。より広く、よりゆとりで満ちた空間にカルティエ最新のビジュアルコンセプトを展開するインテリアを贅沢に導入。大人の質感に包まれながら、特別な体験が味わえるエリアへと生まれ変わった。

今回のリニューアルに伴い、コレクションもさらに拡充。本誌掲載の最新モデルを含めて人気モデルを随時入荷しており、知識豊富なスタッフとともに自分らしい一本を心ゆくまで吟味できる。もちろん、カルティエの最新情報もいち早くキャッチできる。ぜひ訪問を。



取り扱いブランド

カルティエ、オメガ、ピアジェ、ブライトリング

<https://kobayashi-tokeiten.com>



小林時計店

本店 北九州市小倉北区魚町1-3-6
大分店 大分市下郡北3-25-11

TEL.093-521-0013 営業時間/10:30~19:00 第3水曜休
TEL.097-529-7221 営業時間/10:30~19:00 水曜休